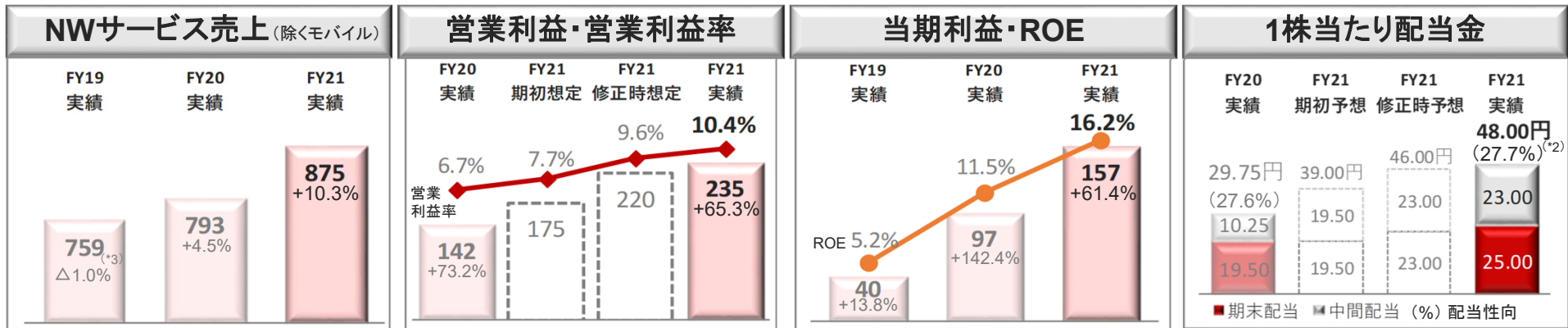


# I. FY21総括

単位: 億円  
 +、△% = 前年同期比  
 当期利益は親会社の所有者に帰属する利益を表示

**売上 2,263.4億円 +6.3% 営業利益 235.5億円 +65.3% 当期利益 156.7億円 +61.4%**

中期計画初年度 利益大幅超過でスタート  
 法人ストック売上<sup>(\*)</sup> 伸長のスケールメリットで構造的増益継続 増益に伴い増配<sup>(\*)</sup>(実質配当性向 30%程度)



<b>NWサービス</b> (除くモバイル)	<ul style="list-style-type: none"> <li>デジタル化進展による需要拡大期のなか自社開発の高付加価値法人向けネットワーク(NW)サービス継続伸長                     <ul style="list-style-type: none"> <li>IP: 136.8億円 +12.4%、アウトソーシング: 405.2億円 +13.5%、WAN: 264.0億円 +5.4%                             <ul style="list-style-type: none"> <li>✓ セキュリティサービス(アウトソーシング内数)売上: 222.2億円 +20.6%</li> </ul> </li> </ul> </li> </ul>
<b>モバイル</b>	<ul style="list-style-type: none"> <li>22年3月末モバイル総回線数 350.8万(うちギガプラン: 66.7万)                     <ul style="list-style-type: none"> <li>多様なNWカメラ案件等積み上げで法人モバイル(除MVNE)大幅伸長(売上 102.6億円・+31.4%、回線数 137.4万回線・+23.7%)</li> <li>個人向け新プラン移行に伴うARPU減・MVNE向け期初提供価格見直し等で想定通り減収(想定: △70億円、実績: △68.1億円)</li> </ul> </li> </ul>
<b>SI</b>	<ul style="list-style-type: none"> <li>NW更改大型複合案件複数受注、SaaS導入のオフィスIT等のNWインテグレーション需要活況</li> <li>PTC連結影響(21年4月より連結化) 売上: 68.9億円(想定 85億円)、営業利益: 3.1億円(想定 4億円)</li> </ul>
<b>トピックス</b>	<ul style="list-style-type: none"> <li>企業システムのフルクラウド化を推進する「IIJ GIO インフラストラクチャー P2 Gen.2」提供開始(21年10月)</li> <li>「政府情報システムのためのセキュリティ評価制度(ISMAP)」サービスリストに「IIJ GIO インフラストラクチャー P2」登録(21年12月)</li> <li>データセンター需要増に備え白井DCキャンパス2期棟追加へ 23年7月より順次稼働開始しFY27までの設備需要に対応</li> <li>持分法適用関連会社ディーカレットホールディングス暗号資産事業売却 デジタル通貨事業へリソース集中(22年2月)・経営体制強化</li> </ul>

(\*1) 法人ストック売上: NWサービス売上(除くモバイル)にSI運用保守売上を加えた売上を指す

(\*2) 非定常的な非資金損益(ファンド評価益・減損等)を除外したFY21の実質的な配当性向は30%程度

(\*3) FY19実績NWサービス売上(除くモバイル)には WAN既存特定大口顧客売上44.4億円前期比減を内包

## II. FY22目標と中期計画(FY21-FY23)進捗

単位: 億円  
 +% = 前年同期比  
 当期利益は親会社の所有者に帰属する利益を表示

### FY22目標

#### 成長戦略の継続遂行・強化で増収増益進展

売上高	2,500億円	+10.5%	税引前利益	263億円	+8.8%
営業利益	272億円	+15.5%	当期利益	175億円	+11.7%

#### 増益に伴う増配

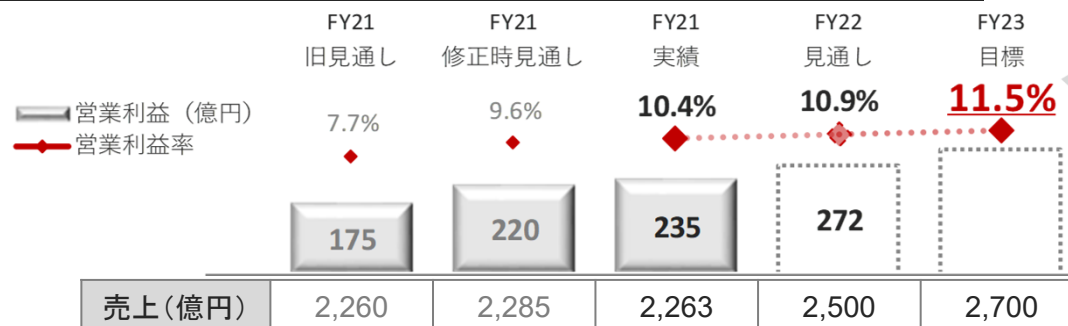
FY21実績		FY22予想
48.00円/株 (27.7%)	+10.50円	58.50円/株 (30.2%)

FY21: 非定常的な非資金損益(ファンド評価益・減損等)を除外した実質的な配当性向は30%程度

NWサービス(除くモバイル)	モバイル	SI
<ul style="list-style-type: none"> <li>◆ 従前からの売上積み上げ継続にNW更改大型複合案件上乘せで増勢</li> <li>◆ インターネット接続・セキュリティ・WAN等の複合提供での差別化を一層進展</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>◆ 深化型IoTフラッグシップ案件の創出</li> <li>◆ 5G SAに向けた技術開発推進</li> <li>◆ 個人向けプランの適時アップグレードでシェア拡大、売上減影響は前期比減</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>◆ サービス・SIの複合提供で総合力発揮</li> <li>◆ GIO P2 Gen.2で企業のクラウド移行を推進</li> <li>◆ 前期のオフィスIT等NWインテグレーション需要に加え大口・開発案件等でSI構築大幅増収</li> </ul>
会社基盤強化	設備投資	ディーカレットホールディングス(持分法適用関連会社)
<ul style="list-style-type: none"> <li>◆ シニアマネジメント体制強化で長期成長加速</li> <li>◆ 人材採用・育成の規模・質のレベルアップ</li> <li>◆ M&amp;A機会追求で更なる事業拡大を展望</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>◆ 白井データセンター2期棟を一括建設</li> <li>◆ その他NW拡張等投資は恒常水準継続</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>◆ FY23下期のデジタル通貨プラットフォームサービス本格開始に向け開発・事業推進</li> </ul>

### 中期計画(FY21-FY23)進捗

#### 想定超の増益進展でFY23営業利益率目標を上方修正



#### FY23営業利益率目標



・ 5G SA(Stand Alone)はコアネットワーク・データ通信/制御機能等をすべて5G技術によりシステム構成した通信方式を指す

### Ⅲ-1. FY21連結業績サマリー

単位: 億円

	売上高比		前年同期比		売上高比		前年同期比	
	FY2021実績 2021年4月～2022年3月	FY2020実績 2020年4月～2021年3月			FY2021見通し (2021年11月修正) 2021年4月～2022年3月			
売上収益	2,263.4	2,130.0	+6.3%	+133.3	2,285	+7.3%	+155.0	
売上原価	77.2% 1,747.1	81.1% 1,727.2	+1.2%	+19.9	78.2% 1,787	+3.5%	+59.8	
売上総利益	22.8% 516.3	18.9% 402.8	+28.2%	+113.5	21.8% 498	+23.6%	+95.2	
販売管理費等	12.4% 280.8	12.2% 260.3	+7.9%	+20.5	12.2% 278	+6.8%	+17.7	
営業利益	10.4% 235.5	6.7% 142.5	+65.3%	+93.0	9.6% 220	+54.4%	+77.5	
税引前利益	10.7% 241.6	6.6% 140.3	+72.2%	+101.3	9.4% 215	+53.2%	+74.7	
当期利益	6.9% 156.7	4.6% 97.1	+61.4%	+59.6	6.0% 137	+41.1%	+39.9	

- ・ 販売管理費等は、販売費及び一般管理費(研究開発費を含む)、その他収益、その他費用の合計額を記載
- ・ 当期利益は、親会社の所有者に帰属する利益を表示

# V. FY22連結業績見通し(1)

単位: 億円

	売上高比		前期比		売上高比		
	FY22見通し (2022年4月～2023年3月)	FY21実績 (2021年4月～2022年3月)			FY22 上期見通し (2022年4月～2022年9月)	前年同期比	
売上収益	<b>2,500</b>	<b>2,263.4</b>	+10.5%	+236.6	<b>1,170</b>	+7.3%	+79.5
売上総利益	23.1% <b>578</b>	22.8% <b>516.3</b>	+12.0%	+61.7	22.3% <b>261</b>	+13.1%	+30.1
販売管理費等	12.2% <b>306</b>	12.4% <b>280.8</b>	+9.0%	+25.2	13.2% <b>154</b>	+11.7%	+16.2
営業利益	10.9% <b>272</b>	10.4% <b>235.5</b>	+15.5%	+36.5	9.1% <b>107</b>	+15.0%	+14.0
持分法投資損益	<b>△4</b>	<b>△23.3</b>	-	+19.3	<b>△2</b>	-	+2.0
税引前利益	10.5% <b>263</b>	10.7% <b>241.6</b>	+8.8%	+21.4	8.8% <b>103</b>	△1.3%	△1.3
当期利益	7.0% <b>175</b>	6.9% <b>156.7</b>	+11.7%	+18.3	5.8% <b>68</b>	△1.3%	△0.9

	売上の前提	粗利の前提	その他の前提
NWサービス (除くモバイル)	前期からの旺盛需要継続に大型複合案件加算で増勢	売上増による構造的利益拡大継続	<ul style="list-style-type: none"> <li>販管費等: 採用・販促費用等で規模増加を織り込み</li> <li>持分法投資損益: ディーカレット損失幅縮小(ディーカレット持分法投資損失約7億円見込み)</li> <li>連結従業員純増予算: 約290名・うち新卒178名</li> <li>CAPEX: 白井データセンター2期棟向けFY22分約50億円追加等で215億円規模</li> </ul>
モバイル	法人モバイル大幅増収もギガプラン移行継続等で5億円強減収	接続料確定戻り(FY21は+10.8億円)は未織り込み・音声仕入れ低下によるFY21の一時的利益縮小でFY21比粗利減	
SI	ネットワークインテグレーション需要に加え大型複合案件等で継続増加	売上規模増・粗利率微増で増益	
ATM	前期並み	前期並み	

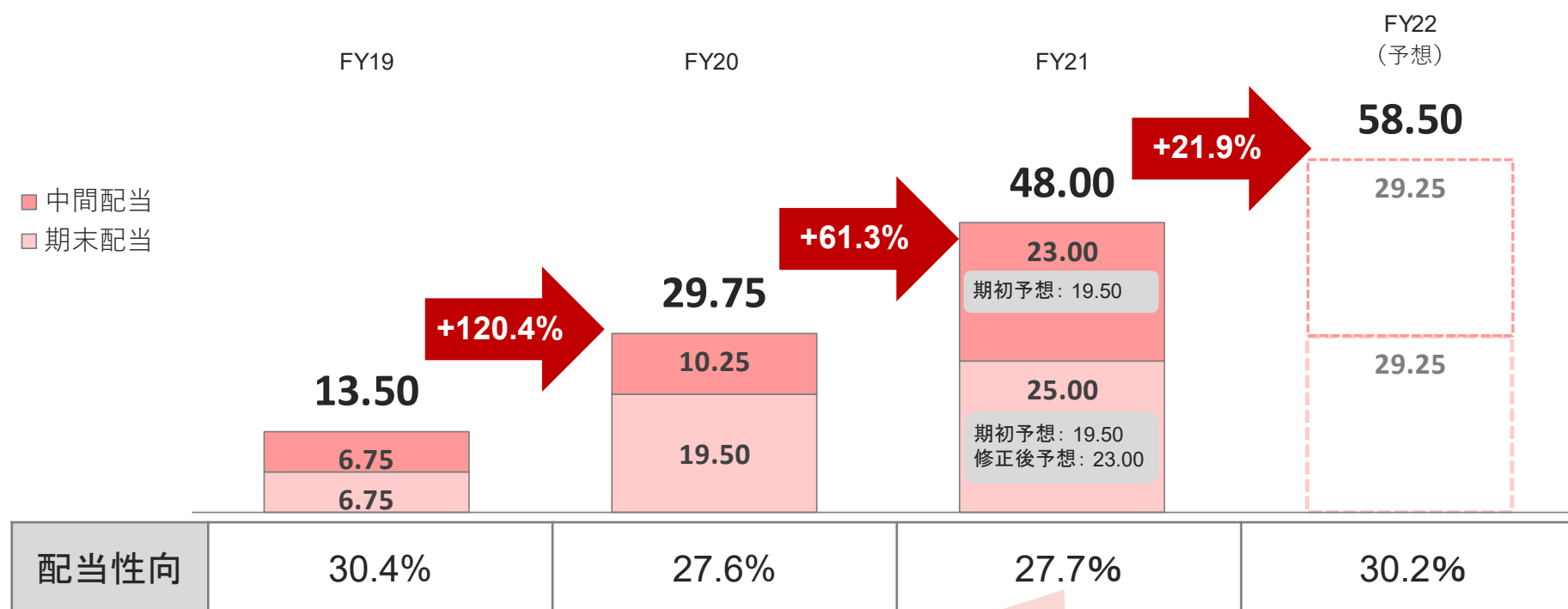
- 販売管理費等は、販売費及び一般管理費(研究開発費を含む)、その他収益、その他費用の合計額を記載
- 当期利益は、親会社の所有者に帰属する利益を表示

## VI. FY22配当見通し

### ◆ 株主還元の基本方針:

財務体質の強化、中長期的な事業拡大・投資等のための内部留保に配慮しつつ安定的な配当を継続

### ◆ 1株当たり配当金の推移(単位:円)



非定常的な非資金損益(ファンド評価益・減損等)を除外した実質的な配当性向は30%程度

・ 2021年1月1日に当社株式1株を2株に分割しており、本スライドではそれ以前の配当額を分割後ベースに補正して表示



日本のインターネットは1992年、IIJとともにはじまりました。以来、IIJグループはネットワーク社会の基盤をつくり、技術力でその発展を支えてきました。インターネットの未来を想い、新たなイノベーションに挑戦し続けていく。それは、つねに先駆者としてインターネットの可能性を切り拓いてきたIIJの、これからも変わることのない姿勢です。IIJの真ん中のIはイニシアティブ

---

IIJはいつもはじまりであり、未来です。

## **事業等のリスク**

本資料の記載のうち、過去または現在の事実に関するもの以外は、将来の見通しに関する記述に該当します。将来の見通しに関する記述は、現在入手可能な情報に基づく当社グループまたは当社の経営陣の仮定及び判断に基づくものであり、既知または未知のリスク及び不確実性が内在しています。また、今後の当社グループまたは当社の事業を取り巻く経営環境の変化、市場の動向、その他様々な要因により、これらの記述または仮定は、将来実現しない可能性があります。